

【概要】 ◇令和2年11月27日開催 ゲストスピーカー：巴創業塾主宰 藻谷 ゆかり 様

○『衰退産業でも稼げます』

・3つのキーコンセプト

①ビギナーズマインド

専門家が持っている癖が無く、すべての可能性に対して受け入れ、疑い、開かれていて準備のある心のこと。初心者の心には多くの可能性があるが、専門家といわれる人の心にはほとんどない。

(例) 京和傘日吉屋(京都府京都市)：和傘を知らなかった元地方公務員が和傘屋を再興。

②増価主義

今ある経営資源の価値を見出し、新しい視点から価値を作り出し、再発見し、その価値を積み重ねていくこと。

(例) 別所ヴィレッジ(長野県上田市)：別所温泉の廃業した土産物屋をテナントとシェアハウスにリフォーム。

③地産外招

地元にある宝物を磨き上げて外から人を招くこと。

(例) 小石屋旅館(長野県山ノ内町)：競売で獲得した築90年の温泉旅館を、外国人観光客をターゲットにした泊食分離型旅館として再生。

- ・地方経済にはブルーオーシャンが広がっており、不動産等が安価で未開拓分野も多いため、投資効率が高い。
- ・地方は意外にもコミュニティからのサポートがあり、子育てもしやすい。

○『少子化問題と地方移住』

・少子化問題の真因は男性の生涯未婚率が上昇したため。→少子化ではなく無子化。

(※生涯未婚率：50歳の時点で一度も結婚したことの無い人の割合)

- ・人口減少は避けられないため、地域の新陳代謝を加速させることが重要であり、I,Uターンの促進が望まれる。→子育てしやすい地方への移住の促進により、地域の活性化と共に人口の自然増も期待できる。

○『コロナ移住のすすめ』

・3つのパラダイムシフト

①メンバーシップ型→ジョブ型

企業に勤めて終身雇用・年功序列の下で働くという働き方から、フリーランスやスモールビジネスといった雇われない働き方への転換。

②専業→複業

1つの本業から複数の本業への転換。(例) 1つ5万円の仕事を6種類やるという考え方。

③所有欲求→存在欲求

モノを所有して満足するという物質主義から、自分が人間として存在していると実感し、他者から頼りにされることで満足するという精神主義への転換。